

民生文教常任委員会 町内施設視察研修

11月1日、民生文教常任委員会にて町内施設視察研修を行い、議長を含め委員全員の9名が参加しました。午前は教育関係施設で、本年度閉校される大総小学校と南条小学校を視察、両校共に校庭から建物内部や設備の詳しい説明を頂き、授業風景も拝見させて頂きました。今後は学び舎に通う子供達の事を第一に考え、出来る限りスムーズな統合を迎えられる様に考えて行かなければなりません。また、閉校後の施設の有効活用においても町民の皆様意向を十分に取り入れながら、最善の活用方法を構築出来る様に努力しなければなりませんと感じました。昼食は南条小学校のランチルームにて児童の皆さんと給食を頂き、時間を決めてルールに則ったもぐもぐタイムを一緒に楽しむ等、新鮮で楽しい時間を共有する



▲南条小学校給食(もぐもぐタイム)

事が出来ました。午後は福祉関係施設で、本年3月にオープンした特別養護老人ホーム横芝光と地域包括支援センター機能を保有する第二松丘園を視察しました。特別養護老人ホーム横芝光は旧横芝中学校跡地を活用し、新設された施設です。運営母体の社会福祉法人下総会はその他の地域でも様々な福祉関係施設を運営しておりますので、今までのノウハウを生かした動線や住環境等細部に渡っての考え抜かれた間取りや設備等のご説明を頂



▲3月にオープンした
特別養護老人ホーム横芝光

きました。次に第二松丘園では地域包括支援センターの機能や実績と問い合わせ内容や件数等のご説明頂き、建物内部も拝見させて頂きました。地域包括支援センターは設置当初より認知度も上がり、現在では個人のお客様はもとより、病院を初め警察署からの問い合わせも増えている様です。地域介護の核として非常に心強い施設になると感じました。議会としても認知度の波及を含め、利用者がいつまでも自分らしく住み慣れた地域で暮らしていく為に最善の努力をしなければなりませんと考えます。

この様な視察は議員一人の力ではなかなか実践する事は出来ませんので、非常に有意義な一日となりました。

町議会議員研修会 ～市町村議会議員のあり方～

11月12日、横芝光町役場第4会議室で、三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖 秀宣(たかおき ひでのぶ)氏を講師に迎え、令和元年度の横芝光町議会議員研修会を開催しました。研修内容は、「市町村議会議員のあり方について」と題してご講演をいただきました。

特に、議会改革の本筋として、議会基本条例の制定があります。執行機関である自治体の意思決定における議会の役割を明確化して理解するルールを作るわけではありますが、成果を上げている先進町を視察するなどし、調査研究してまいります。

また、審議能力・政策形成能力・監視能力をどれだけ上げられるか、議員一同が力を合わせ、できることから、ひとつずつ実施してまいります。



▲高沖 秀宣氏